



## コウガの森・共和から

園長 小林 崇

### 理事長の図書紹介を

朝晩の冷え込みが日に日に増し、秋の深まりを感じられる季節になりました。園でも季節の移ろいや恵みを感じて欲しいと思い、稲刈りしたお米を使った収穫祭や散歩遠足などの活動を計画しています。

また、先日の運動会は天候に恵まれない中の開催となりましたが、ご家族おそろいでお越しくださり誠にありがとうございました。事前準備や演技進行、後片付けに多くの方のご支援をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。クラス便りでは担任が運動会によせた文章を書いていますので是非ご覧ください。

さて、今月の園便りでは理事長の佐藤 智子による図書紹介を一部抜粋して紹介します。紹介する図書は精神科医の佐々木正美著「はじまりは愛着から」という今年9月に出版された本です。

#### ○母性とは、父性とは…子どもが健全に育っていくために…

この本の最初にこの項目があります。とても重要な内容だと思います。

「母性性とは、家庭のなかで子どもや家族を受容、許容、承認する力」だと、佐々木氏は言います。「これまで出会ってきた数多くの非行少年たちは、ここが大きく欠落しているのが常で、そのたびに、母性性の大切さは、乳幼児期から思春期、青年期に至るまで一貫していると確信した」とも述べています。

「一方の父性性は、子どもの成長にしたがって、さまざまな規律、約束、義務、努力、緊張といったことを教えていく事」だと言います。

さらに、「両者がバランスよく子どもに働きかけることが大事なのもちろんだが、もっと大切なのは、まず母性的な養育を充分にしたあと、順次、父性的な、いわばしつけ的な育児をするように心がけること、つまり母性と父性は、バランスより順序が大切」だと言っています。

親にとっては耳に痛いことですが、こんなことも述べています。「母性性が豊かに与えられていない子どもには、園でも父性的な保育や教育ができず、母性的な保育からやり直しをしてやるくらいの気持ちで保育にあたらなくてはならない」と。しかし、このことは子どもの状況を実に言い当てています。

規律を教える前に受容や承認することが先立つこと、乳幼児期から青年期までこのことの大切さに変わりはないこと、具体的な方法を分かりやすく書いてあります。園でも複数用意しますので、興味のある方はご一読ください。

#### コラム しっかり噛んで食べよう

後期健康診断が始まりました。後期より歯科検診を浜坂歯科医院・浜坂 法恒先生にお願いしました。

初めての診察を終え、先生からは「いい歯」の子が多いという意見をいただきましたが、将来の歯列のために乳幼児期から「固いものを食べること」「しっかり噛むこと」が大事だという助言をいただきました。

園でも今年度からおやつを工夫し、するめや昆布などよく噛む食材を多く取り入れています。飲むように食べる様子を見かけることもあります。改めて、「モグモグ・カミカミ」としっかり食べさせることの大きさを痛感しました。

秋も深まり、食材が豊富に出回る季節です。色々な食材を良く噛んで、丈夫な歯・身体をつくりましょう。